

Q プラズマが点灯するが直ぐに消えてしまう。

A 光ファイバのメンテナンスをしてください。

プラズマコンパートメントには、プラズマの光を常時検知しているセンサがあります。このセンサは光ファイバでできており、その受光部が汚れたり曇ったりすると感度が劣化し、プラズマが消えやすくなります。

以下のような症状が現れた場合は、光ファイバのメンテナンスをお試しください。

- ・プラズマは点灯するが直ぐに消えてしまう。(点灯直後に消える ~ 最大 5 秒間点灯して消える。)
- ・検量線を引く事はできるが、試料を測定するとプラズマが消える。
- ・ある特定の試料を測定するとプラズマが消える。

1.プラズマが消えている状態で、プラズマドアを開けます。

2.トーチを外します。

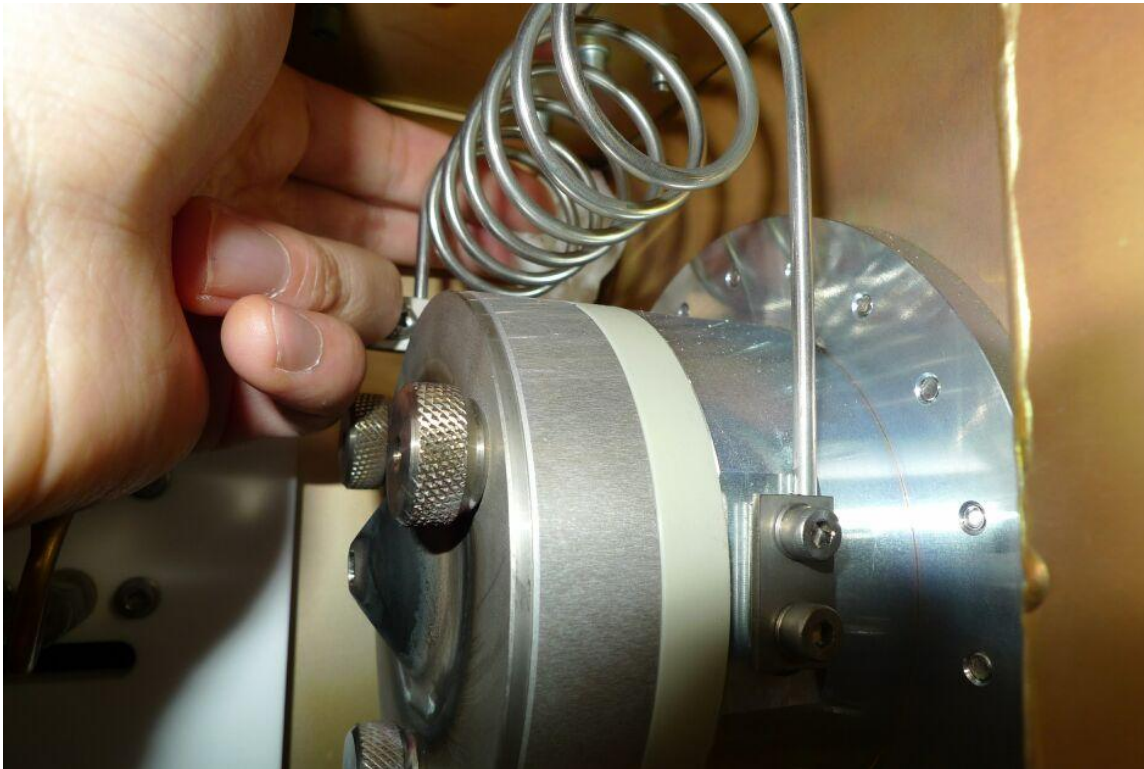
3.プラズマコンパートメントの右上奥辺りに黒い線が見えます。

AX タイプの装置では、線がレゾナントコイルの裏側にあるため、見えにくい位置です。



黒い部分は被覆です。先端部だけ被覆が剥いてあり、透明なファイバ線がむき出しになっています。このファイバ線が汚れると感度が悪くなります。

4.キムワイプ等に純水を染み込ませ、先端部分の汚れを取り除きます。



5.トーチを戻し、プラズマドアを閉め、プラズマを点灯してください。

ご不明な点は、カスタムコンタクトセンターまで(電話受付 9:00~12:00,13:00~18:00 土、日、祝日は除きます)

電話  0120-477-111

FAX  0120-565-154

E-mail: email_japan@agilent.com

<http://www.agilent.com/chem/jp>